

各 位

会 社 名 北日本紡績株式会社
代表者名 代表取締役社長 粕谷 俊昭
(コード：3409 東証第2部)
問合せ先 取締役 篠原 顕二郎
(TEL. 076-277-7530)

抗菌・抗ウイルス糸の新製品上市に関するお知らせ

この度、当社は、抗菌・抗ウイルス糸の上市を2022年4月より実施することをお知らせいたします。

記

1. 上市販売開始の経緯

当社は、2021年8月18日付けの「抗菌・抗ウイルス糸の開発経緯に関するお知らせ」で公表した綿糸の抗菌性能に続き、綿糸及びポリエステル糸の抗菌・抗ウイルス性能についても一般財団法人カケンテストセンターにて、抗菌試験（JIS1902）、抗ウイルス試験（JIS1922：繊維製品のインフルエンザウイルス試験）を行い SEK（一般社団法人繊維評価技術協議会が実施する認証制度）相当の結果が得られました。更に量産体制に目途を付けたことから、上市をすることとなりました。

なお、新型コロナウイルス試験については引き続き提携大学にて継続中であります。

本新製品の特長は、抗菌・抗ウイルス機能を有する薬剤を、布に固着させる従来法（後加工）とは異なり、布にする前の糸に薬剤を固着させることにあります。

当社独自の技術で抗菌・抗ウイルス剤（以下薬剤という）を糸の表面に強固に固着させており、抗菌・抗ウイルス機能の経時劣化が起り難く、また、薬剤が凝集することもなく、風合いの改善が見込めます。更に、当該糸を、繊維製品に組み込むことで、製品の機能付加に貢献することが期待されます。

なお、薬剤を糸に固着させる方法として、薬剤を糸に練り込む方法が知られていますが、この方法では、糸の表面以外に糸の内部にも薬剤が混在し、糸本来の質感が損なわれることや、糸の強度の低下、薬剤による紡糸機械の汚れが、問題とされてきました。

当新製品は、創業以来培われた多岐技術と、近隣パートナー会社との連携をベースに、当社独自の薬剤選定と調合技術、及び、薬剤の固着化を小規模かつ高効率に行える斬新な技術により、薬剤を糸の表面に強固に固着させることを可能にしました。

今後、抗菌・抗ウイルス機能を有する綿糸及びポリエステル糸の特性を生かし、日本発の技術として、需要家様と協力して、様々な用途展開を図って参りたいと考えております。

なお、期待される用途として、綿糸はタオル、肌着類、ポリエステル糸はメディカルウェア、肌着、自動車用シート、インテリアファブリックス（カーテン、ブラインド、カーペット、壁紙）、寝具寝装品などが例示できます。

更なる開発として、薬剤としての光触媒の利用や、対象繊維の拡充を図って参ります。

2. 今後の見通し

現在、本技術の知的財産化を国内のみならず海外も視野に入れたところで検討中です。

本上市の開始にともなう今後の当社業績に与える影響については、今後の事業の展開に応じて適時かつ適切に開示して参ります。

以上